

H3ロケット9号機による
準天頂衛星システム「みちびき7号機」の打上げについて
〔内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話〕

本日、H3ロケット9号機により、「みちびき7号機」が打ち上げられました。

今回のH3ロケット9号機の打上げは、本年6月の6号機(30形態試験機)の打上げに続く、連続での成功となります。関係各位の御尽力に敬意を表します。

H3ロケットは、我が国の宇宙活動の自立性確保と国際競争力強化のために極めて重要な基幹ロケットです。今回、打上げに成功し、我が国のロケット技術の信頼性の高さを示すことができました。今後、国内外の多くの打上げ需要を獲得し、我が国の自立性確保や宇宙産業の一層の発展につながることを期待しております。

今回の「みちびき7号機」は、我が国の準天頂衛星システムの一部として、現在運用中の5機と合わせ、国内外に正しい位置・時刻の情報を提供していきます。今後、所定の軌道に移動し、数か月程度かけて試験等を行い、速やかに運用を開始する予定です。

今後、測位サービスの安定供給を図るべく、他国の測位衛星がなくても、みちびきのみで測位が可能となる「7機体制」を早期に構築し、さらに、7機のうち、どの1機が故障しても測位機能を維持できる「11機体制」に向けた開発を加速してまいります。

内閣府特命担当大臣(宇宙政策)として、今後とも、我が国の宇宙開発利用を精力的に進めてまいります。

令和8年8月11日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
小野田紀美